

平成22年度事務事業実績及び前期4年間取組評価表

事務事業名	ふるさと飯田応援隊募集事業	会計	一般会計	事業No.	74	施策順No.	94-003
		事業種別	政策・その他	予算科目	2-1-9-11-22		
政策	9 市民と共に進める行政経営			課等名	企画課		
施策	94 効率的、効果的な行政運営			事業期間	開始	20	終了

1 事業の目的

事業の目的は「対象」を「意図」した状態にすることです	対象	①飯田市出身で市外在住者 ②全国で飯田市に関心のある人							A十分達成した Bどちらかといえば達成した Cどちらかといえばできていない Dほとんど達成できていない
	誰、何に	①未把握 ②未把握							
	意図	①②ふるさと寄附金を納入していただく							
	対象をどう変えるか	①具体的な数値で表すと(対象指標)	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度		
		ふるさと寄附金の納入額(単位:千円/年)		2703	12429	5000	3151	5000	目標達成度 C
22年度の目標達成度に対する振り返り【政策的事業のみ評価】		飯田市出身者を中心とした飯田ふるさと連合会や高等学校同窓会などで、ふるさと飯田応援隊の取組を周知し、寄附による応援を依頼した。リニア飯田駅設置推進のための応援がいただけるよう、チラシを作成し、PRを推進した。							

2 手段(具体的な取り組み内容)

事業の制度(仕組み)説明	<p>1 ふるさと寄附金制度を利用して、当市に寄附をいただけるよう、ふるさと飯田応援隊事業としてPRを実施。</p> <p>2 寄附により応援をいただく取組は、①リニア飯田駅設置、②飯田の観光、文化の振興、③人材育成、人材誘導、④人形劇のまちづくりの4種類。</p> <p>3 ホームページ、PR用チラシ、横断幕等を作成して周知を図るとともに、ふるさと会、高校同窓会等を通じて取組みの周知と寄附の依頼を行う。</p> <p>4 寄附をいただいた方には、お礼状を送付するとともに、一定期間広報誌を送付し、飯田市の情報を届ける。</p>							
		事業内容	名称	活動量・単位				
	22年度事業内容	<p>1 ホームページによる告知</p> <p>2 ふるさと会、高校同窓会等での寄附の依頼</p> <p>3 PRチラシの作成、配布</p> <p>4 イベント、バス停等での周知活動</p> <p>5 広報での告知</p>	<p>1 アクセス数</p> <p>2 依頼実施会合数</p> <p>3 配布枚数</p> <p>4 周知活動回数</p> <p>5 告知回数</p>	<p>1 1,282回</p> <p>2 7回</p> <p>3 2,950枚</p> <p>4 4回</p> <p>5 3回</p>				
23年度実施計画	<p>1 ホームページによる告知</p> <p>2 ふるさと会、高校同窓会等での寄附の依頼</p> <p>3 PRチラシの作成、配布</p> <p>4 イベント、バス停等での周知活動</p> <p>5 広報での告知</p>	<p>1 アクセス数</p> <p>2 依頼実施会合数</p> <p>3 配布枚数</p> <p>4 周知活動回数</p> <p>5 告知回数</p>	<p>1 1,494回</p> <p>2 7回</p> <p>3 5,500枚</p> <p>4 1回</p> <p>5 2回</p>					

3 事業コスト

事業費	特定財源	(千円)	22年度予算額	22年度決算額	23年度予算額	特定財源内訳、補足事項
	国庫支出金					
	県支出金					
	起債					
	その他					
一般財源		91	63	89		
計(A)		91	63	89		
正規職員所要時間						
臨時職員等所要時間						
人件費計(B)			0			
トータルコスト A+B			63			

4 事業に対する市民や議会の意見

・温泉や美術博物館等の無料券の特典をつける事で効果を上げられたい。・寄附金の使途メニューを、「リニア新幹線駅誘致」等、飯田を応援したくなるようなメニューを明確にリストアップして、投資ができる仕組み作りを検討する必要がある。・各地域のふるさと会やすべての高校の同窓会の協力も得る努力をし、事業を推進されたい。(議会の提言)・ふるさとを思う気持ちに訴えるように積極的に取り組んでいただきたい。(推進委員会の提言)

5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】

行財政改革の取組区分	【記載不要】	具体的な取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比べての効果額(千円)	【記載不要】	効果額説明(算出根拠)、特殊要因	【政策的事業のため記載不要】

6 前期4年間の取組評価(総括)

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	市の行財政がムリ、ムダ、ムラがなく運営される	施策の成果指標又はムトス指標	集中改革プランの目標達成度
この事務事業は施策の目的達成にどのよう に貢献しましたか	4年間の振り返り	<ul style="list-style-type: none"> ふるさと寄附をしていただき財源を確保することは、市財政の安定を図ることにつながり、市の行財政がムリなく運営されることにつながっている。 		
	後期に向けた課題			
この事務事業の成果を向上させるためにどのような工夫を してきましたか	4年間の振り返り	<ul style="list-style-type: none"> お礼として寄附者には市長の礼状をお送りし、また、寄附者が市外在住者の場合はふるさとの情報提供として広報いいだ(1日号)を一年間送付している。 寄附者への働きかけとして、20年度は各地区のふるさと会を中心に、21年度以降は更に高校の同窓会へも働きかけを行った。また、22年度にはやまびこマーケットの受付時にチラシを渡して取組をPRしてきた。 応援していただけるような寄附金のメニューとして、22年度から「リニア飯田駅設置の応援」を追加した。 		
	後期に向けた課題			
コストを削減するためにどのような工夫を してきましたか	4年間の振り返り	<ul style="list-style-type: none"> 事業費の主なものにはチラシ印刷の費用である。高校への同窓会等へのチラシ配布の依頼も、会報等を送付する際に同封をお願いするなど必要最小限の費用で取り組んでいる。 		
	後期に向けた課題			
受益者負担の程度、市が関与する程度は適切でしたか	4年間の振り返り	<ul style="list-style-type: none"> 市の財源確保につながる事業であり、市が関わることは当然である。特定の受益者を設定する事業ではない。 		
	後期に向けた課題			
多様な主体の役割の発揮状況 ①その主体は誰で、どのような役割を果たしましたか。 ②その主体が役割を發揮するために、行政はどのような働きかけをしましたか、又は、配慮してきましたか	4年間の振り返り	<ul style="list-style-type: none"> ①主体は飯田市出身の市外在住者や飯田市に関心のある方で、寄附により応援をいただいた。また、各地区まちづくり委員会や高校同窓会の会長、事務局等の関係者の皆さんにも、ふるさと飯田応援隊のPRに協力していただくことができ、大きな役割を担っていただくことが出来た。 ②応援をしていただけるようメニューの検討や取組を知っていただくためのPRを行った。 		
	後期に向けた課題			
全体を通じて	4年間の振り返り	<ul style="list-style-type: none"> 県内他市の状況と比較すると、飯田市は金額・件数とも上位のグループとなっており、PR方法等は限られていたが一定の成果はあったと考えている。しかし、22年度は目標金額に到達しておらず、現状の取組を継続するだけでは不十分である。 		
	後期に向けた課題			

7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認

事務事業を統合・分割する必要はありますか	ない	対象や意図を修正する必要はありますか	ない	成果指標や指標値を修正する必要はありますか	ない
----------------------	----	--------------------	----	-----------------------	----

8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画

<input type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善
-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	---------------------------------	-------------------------------	--	--------------------------------	--